

令和二年度 奈良金春会演能会

令和二年六月二十一日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム豊
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール
奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四二)二七一二六三〇(代)

能のお話

佐藤俊之

仕舞

生 東 鶴

田 北 飼
クセ キリ キリ

田 中 田
直 能 賢
樹 光 一

能源太夫

シ テ(前・老翁) 金春穂高
後ッレ(老) 金春嘉織
ワ キ(勳) 原大
ワキツレ(従) 原陸
ワキツレ(従) 久馬治彦
ア イ(熱田明神の末社) 茂山千五郎
小 鼓 赤井要佑
大 鼓 荒木建作
太 鼓 上野義雄

〱 休 憩 二十分 〱

狂言 薩摩守

シ テ(出家) 茂山茂
ア ド(茶屋) 松本薫
ア ド(船頭) 茂山千之丞

仕舞

養 老
角 田 川

中 村 昌 弘
高 橋 忍

能杜若

シ テ(杜若の精) 金春憲和
ワ キ(旅僧) 原春陸
小 鼓 赤井啓三
大 鼓 上野義雄
太 鼓 上野慎也



源太夫 (げんだゆう)

解 説 中 司 由起子

勅使(ワキ)が従者(ワキツレ)を伴い尾張国熱田明神に参詣し、老夫婦(前シテ・前ツレ)と出会う。老夫婦は熱田明神と出雲の神が一体であることや、素盞鳥尊(そさのおのみこと)の詠んだ「八雲立つ出雲八重垣」の歌の謂れ、日本武尊(やまとだけののみこと)が素盞鳥尊の再来であることを教え、素盞鳥尊が出雲で大蛇を退治して手摩乳(てなすち)と脚摩乳(あしなすち)の娘稲田姫を救った物語を語る。さらに二人は、老翁脚摩乳が名を変えて源太夫の神となり、東海道の守護神となったと述べ、自分たちは手摩乳と脚摩乳であると正体を明かし、消え失せる。熱田明神の末社の神(アイ)が現れ、大蛇退治の物語を語り、舞楽の太鼓を持ち出す。やがて日本武尊の妃橘姫(後ツレ)と源太夫の神(後シテ)が出現し、源太夫は太鼓を打ち、二人は舞楽を舞う。橘姫と源太夫の神は「楽」を舞います。金春流のみが現行曲とする作品です。

杜 若 (かきつばた)

旅の僧(ワキ)が三河国八橋で杜若に見とれていると、女(シテ)が声をかける。女は在原業平が詠んだ杜若の和歌「唐衣着つつ馴れにし妻しあれば 遙々来ぬる旅をしぞ思う」の話をし、僧を庵に案内する。業平の思い人、高子(たかきこ)の後の衣と業平の冠を身につけた女は、自分は杜若の精であると明かす。さらに業平は歌舞の菩薩であると述べて、「伊勢物語」の恋物語を語り舞う。『伊勢物語』に描かれた、業平の数々の恋や、東下りを謡った長大な曲舞と序ノ舞が中心で、杜若の花の精に、高子と業平のイメージが重なり合って見える艶やかな能です。

次回予告

七月 十二日(日) 午前中 奈良金春会連合謡曲仕舞会(入場無料)

七月 十二日(日) 午後一時頃から 奈良金春会(四月二十六日分)

能 弱 法 師 高 橋 忍

能 胡 蝶 金 春 穂 高

九月二十七日(日) 午後十二時半 中 田 能 光

能 楊 貴 妃 金 春 康 之

十一月二十九日(日) 午後十二時半 金 春 安 明

能 生 田 高 橋 忍
能 葵 上 金 春 安 明

五枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

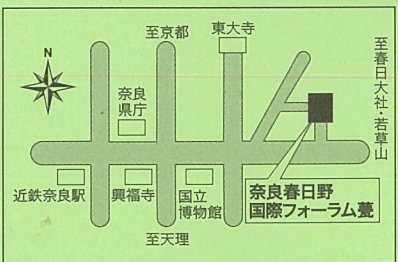
一般一回券

五、〇〇〇円

学生一回券

二、五〇〇円

◎鑑賞券(学生券を除く)は、奈良春日野国際フォーラム豊でも取り扱います。



お問い合わせ 電話 (〇七四二) 三三一九七二〇 金春

奈良春日野国際フォーラム豊 能楽ホール
電話(〇七四二)二七二一三三〇(代)
・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環「大仏前」下車 東へすぐ
・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分
主催 奈良市教育委員会
後援 奈良県 奈良市 金春会
(公社)金春円満井会

- ◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラム豊に改称されました。
- ◎特別に許可された人以外の 写真撮影・録画・録音は お断りします。
- ◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など 他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。
- ◎奈良春日野国際フォーラム豊の駐車場は、現在一般の方の車の受け入れをしております。
- ◎車でお越しの方は、他所に駐車場をお求めいただくこととなります。
- ◎満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。
- ◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

- ご来場されましたら必ずマスクを着用し、アルコール消毒の後、受付で記載をお願いいたします。(万が一の場合の追跡調査用としてのみ使用いたします。)
- 入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。
- 会場の定員は五〇〇名ですが、当日は入場者二五〇名の制限をかけます。
- 座席は隣り合わないよう、また前後が重ならないようにご着席ください。